2026年10月　日発行

キャリア通信

１０月号

東京都立王子総合高等学校

キャリアデザイン部発行

■　就職について知ろう

就職と聞くと、商業高校や工業高校といった専門学科の生徒の進路というイメージがあるかもしれません。しかし、少子化や人手不足の状況が加速する現代、高卒人材を確保したいと考える企業は増えています。実際、本校にもたくさんの求人の問い合わせが届いています。

本校は総合学科であるため、生徒の希望進路は多様です。例年、半数以上の生徒が大学に進学し、3割程度が専門学校等に進学しています。今回は、進学以外の進路である「就職」について考えてみよう。

■高卒就職ってどんなことをするの？

6月　「就職斡旋申請書」を学校に提出　就職希望者として登録

7月　求人票公開　どの企業に就職したいか、求人票を読み比べて選ぶ

夏休み　会社見学　採用を希望する企業を1社決めて、職場を尋ねる

9月　採用選考スタート　各職場で実施される採用試験にチャレンジする

9月以降　採用内定　「入社承諾書」「お礼状」等の作成

生徒個人が活動するアルバイトとは異なり、「職業安定法」に基づいて行われる就職活動です。高校がハローワークの業務を分担しているため、高校の紹介・推薦をうける必要があります。通常の企業就職では採用が決まったらすぐ入社となりますが、高卒就職では卒業を待って4月1日入社となります。

高卒就職は、原則として一人1社のみチャレンジします。大学の一般選抜のように2社以上を併願することはできません。（秋以降になると、併願ができる場合があります）。

■採用試験ってどんなことをするの？

企業は高校生に対して、即戦力として活躍してほしいと期待しています。

一部の事務職では、基本的な計算力や読解力のテストを実施することがありますが、大学入試の一般選抜のように、教科の高度な学力を要求されることはありません。

ほぼすべての企業が、面接を実施します。面接は個人形式が多く、人事部面接→役員面接→社長面接のように複数回に分けて実施することもあります。志望理由、高校で頑張ったこと、入社後にやりたいこと、この3点は必ず答えられるように準備しましょう。

■どんな職種があるの？

厚生労働省は、下図のように職種を分類しています。

０１	管理的職業	０８	福祉・介護の職業
０２	研究・技術の職業	０９	サービスの職業
０３	法務・経営・文化芸術等の専門的職業	１０	警備・保安の職業
０４	医療・看護・保健の職業	１１	農林漁業の職業
０５	保育・教育の職業	１２	配送・輸送・機械運転の職業
０６	事務的職業	１３	建設・土木・電気工事の職業
０７	販売・営業の職業	１４	運搬・清掃・包装・選別等の職業

大きく分けると、人と関わる仕事（接客、営業、福祉等）、物と関わる仕事（建設、運輸、工場等）そして、PCや紙と関わる仕事（事務、人事、オペレーター等）のように区別できます。自分がどのような職種に興味があり、適性があるかは、自分だけではわからないことがあります。保護者や学校の先生とよく相談したり、学校で実施した適性適職検査の結果を参考にしたりするなど、天職といえる仕事に出会えるよう頑張りましょう。1，2年次の生徒も、求人票を見比べたり、就職相談したりなど、いつでもキャリアデザイン部就職担当を尋ねてください。（宮本）

■　王総生は締め切りに弱い

そう、王総生は締め切りに弱いんです。弱い生徒が多い、ということです。いきなり何を言うのかと思うでしょうが多くの先生方が同意してくれるはずです。一期生の頃からそうなんです。締め切りまでの期間が長くなればなるほどこの傾向は強くなるように思います（個人の感想です）。例えば「この授業時間内に提出しなさい」とプリントを配るとほとんどの人が提出できます。ところが期限を「明日の朝まで」にすると、提出できない人が出始めます。これが1週間後になるとさらに増えます。

実のところ理由は概ねわかっています。先延ばしにするからです。あとで、と思うからです。うっかり忘れる、という人はほとんどいないんだろうと思います。わかっていても、出せない。遅れる。何故か？先延ばしにするからです。ギリギリになって手を着けるので時間が足りなくなるのです。何故先延ばしにするのか？面倒だからです。イヤだからです。イヤなことはやりたくないのです。

ここまで読んで思い当たる人、できるだけ早く直すことをお薦めします。学校の提出物だったらまぁ先生に怒られるくらいで済みます。「ごめんなさい」と言っていれば済みます。これ、高校を卒業すると事情が変わります。機械的に未提出として減点されるくらいならまだしも、「できない学生」として切り捨てる先生もいます。

さらに、社会に出て仕事の中でこれをやると信用されなくなります。給料が下がります。会社に損害を与えたら解雇される可能性だってあります。それまでにはちゃんとできるようになるよ、と言うかもしれませんが、プリント1枚、課題1件、研究論文1本、期限に間に合わない人がそんなに簡単にできるようになるものでしょうか。

気持ちの切り替えひとつで人生の流れは簡単に変わります。自己管理のうまくできる人間になることを目指しましょう。応援しています。（松嶋）

■　希望分野別懇談会

1年次『産業社会と人間』では、10月に「希望分野別懇談会」を実施しました。卒業後の志（こころざし）を共にする生徒同士でグループをつくり、希望する理由や悩み、さらには選択科目について話し合いました。

生徒は自分の希望を叶えるために、どのような力を身に付けなければならないか、それを実現するためにどの科目を選択しなければならないか等、様々な気付きを得るとともに、自身の進路意識を向上させることができました。今回の懇談会で出会った友と励ましあいながら、自分の夢を叶えるために学習に励みましょう。



■　キャリカンコラム

総合学科の生徒にとって、次年度の選択科目の決定は、人生の分岐点ともいえる重要な決断です。履修相談週間、多くの生徒が私のところへ来て、どの授業を選択したらよいかの悩みを聞かせてくれました。

私はこのとき、悩んでいる生徒に対し「覚悟を決めよう」とお話しました。覚悟とはたとえば、A 大学で数学を学ぶか、B大学で音楽を学ぶかで迷っている場合、覚悟を決めて A 大学進学用の選択科目に決定するということです。覚悟さえ決めれば、たとえ来年の今頃にまた悩んだとしても、「いや、あのとき自分は覚悟を決めたんだ！」と歯を食いしばって立ち直れるものです。

総合学科の生徒は、普通科の高校よりも覚悟を決めなければならない場面が多いです。でも、それが将来の皆さんを支える力になると私は信じています。（野澤）